

39 チワラスボ

(ハゼ科)

兵庫県ランク:A

Taenioides sp.B

環境省ランク:EN

種の概要

全長15 c m程度。体は非常に細長く、眼は退化して小さい。下顎が上向きに突き出るなど特徴的な体形をしている。内湾や河口の泥中に巣穴を掘って生息しており、生息密度は低い。国内では静岡県から沖縄島にかけて分布する。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

県内での分布は局限されており、瀬戸内海側の1河川の河口域でのみ確認されている。個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

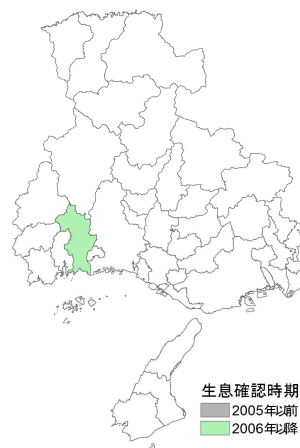
本種の生息に適した軟泥底の干潟を含む干潟環境の保全が求められる。県内の生息地は局限されており、埋め立てや掘削による直接的な生息地の消失を避けるほか、生息地の上下流の改変により、河川や潮の流れ、土砂供給量の変化などを通して引き起こされる間接的な生息地の消失（本種の生息に適した底質の消失）にも留意する必要がある。

県内分布

たつの市

主要な選定理由

人為性	激減	△
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	○
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励